

大田原市民健康診査 の充実について

代表質問



一誠会
滝田 一郎 議員

子育て支援 について

質問…細胞診とHPV-DNA

(ヒトパピローウイルス)併用
検診の導入について伺います。

予防接種法に基づくヒトパピ
ローウイルス予防ワクチンの
積極的な接種の勧奨が中止され
ましたが、女性特有のがん検査
の充実が求められています。

答弁…併用検診を行うことでよ
り前がん状態で見逃しなく検査
ができ、結果によって検診の間

隔を延長できることで受診者の

利便性と、検査費用の削減にも
つながることから、平成29年度
から集団健康診査のみ25歳から
45歳の女性に導入することとし
ました。

質問…腫瘍マーカー検診のメ
ニュー化について伺います。市
民健康診査の医療機関健診では
多様な腫瘍マーカー検査があり
ますが、集団健診の場合は限ら

れたものとなっています。

答弁…特に効果の高いとされて
いる腫瘍マーカーは前立腺がん
と肝がんのマーカーと言われ、
前立腺がんは集団健診にも既に
導入されています。そのほかの
マーカーは、利便性から導入す
ると混乱が予想されますので有
効性の高い既存の各種がん検診
の受診率を高めることを最優先
に取り組みます。

質問…児童手当及びこども医療
費の現況と財源確保について。

答弁…児童手当は中学卒業まで
の児童養育者に支給し本年度の
財源内訳は国7億8千万円県と
市が1億7千万円、こども医療
費助成は高校生までを対象とし
本年度の財源内訳は県8千万円
市1億1千万円の見込みです。
増加した場合には不足が生じな
いよう補正により対応します。

質問…乳幼児健康診査の受診率
向上について伺います。

答弁…未受診者に対しては再通
知や家庭訪問等で受診勧奨等を
行います。

質問…産後ケア体制の充実につ
いて伺います。

答弁…平成29年4月からは助産
師が相談支援する産前産後サ
ポートを実施します。また出産
し退院直後の母親に対して安心

して子育てができる産後ケアを
実施します。さらに養育環境の
悪化を予防するため、家事や育
児の補助を実施する養育支援へ
ルパー派遣事業を実施します。

質問…市立保育園の民間委託及
び委譲について伺います。

答弁…平成24年度にはかねだ保
育園を、平成25年度にはのぎき
保育園を民間化していますが今
後の民営化は当面見送ります。